

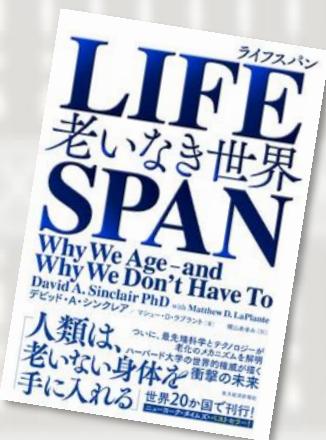
No.KD0224
2021年5月

教養読み物 ベストセラー

KinoDenで人気の教養読み物ベスト20をご紹介します。



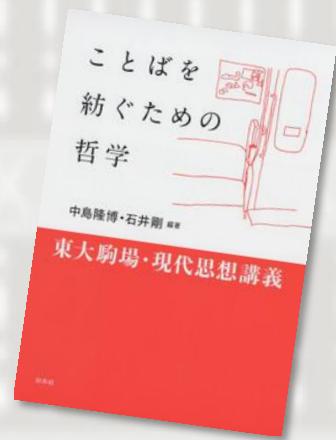
①



②



③



④



⑤



⑥



⑦



⑧

書影左上より、**タイトル**（同時アクセス1本体価、ISBN、底本出版年月、出版社、ProductID）

- ① **A I v s . 教科書が読めない子どもたち**（¥4,950、9784492762394、2018/02、東洋経済新報社、KP00011460）
大規模な調査の結果わかった驚愕の実態。気鋭の数学者が導き出した最悪のシナリオと教育への提言。
- ② **LIFESPAN (ライフスパン)**（¥7,920、9784492046746、2020/09、東洋経済新報社、KP00033061）
「病なき老い、老いなき世界」における人生戦略とは？ハーバード大学の世界的権威が描く衝撃の未来。
- ③ **利己的な遺伝子 40周年記念版**（¥9,790、9784314011532、2018/02、紀伊國屋書店、KP00018136）
1976年の初版刊行以来、分野を超えて多大な影響を及ぼし続けている古典的名著。
- ④ **ことばを紡ぐための哲学**（¥4,400、9784560096734、2019/04、白水社、KP00020964）
「炎上」からヘイトスピーチまで、敵が敵を生む「ことばの過剰」に抗して、ともに生きる場を恢復する、「知の技法」のこれから。
- ⑤ **性の多様性ってなんだろう？**（¥3,080、9784582837803、2018/06、平凡社、KP00014421）
LGBTだけじゃない、「普通」の性のあり方も通して、多様な性について知り、学ぶ、考えるための一冊。
- ⑥ **100の思考実験**（¥6,490、9784314010917、2012/03、紀伊國屋書店、KP00018134）
列車の暴走で40人が死にそうなとき、5人だけ死ぬようにレバーを切り替えられるとしたら？哲学・倫理学の100の難問。
- ⑦ **ホモ・デジタルの時代**（¥4,840、9784560097212、2019/09、白水社、KP00024931）
A I 時代の労働はどうなる？GAFA等の覇者どう付き合うべきか。1968年パリ5月革命以後の世界史から経済を説く。
- ⑧ **われらの子ども**（¥8,800、9784422360010、2017/03、創元社、KP00015304）
“夢なき社会”を生んだ米国の貧困を、子どもの物語と社会調査で活写した、全米ベストセラー！！



書影左上より、**タイトル**（同時アクセス1本体価、ISBN、底本出版年月、出版社、ProductID）※⑯のみ同時アクセス2本体価

- ⑨ **同性愛文学の系譜**（¥7,700、9784585291916、2020/02、勉誠出版、KP00027267）

近代以降、同性愛は文学の中でどのように表現されてきたのだろうか？明治から平成までの文学史の一側面に光を当てた一冊。
- ⑩ **江戸の科学者**（¥1,804、9784582858754、2018/04、平凡社、KP00014740）

世界に匹敵する異能の科学者たちが江戸時代の日本にもいた！11人の波瀾万丈の生涯でつづる科学史。
- ⑪ **英國貴族、領地を野生に戻す**（¥5,940、9784806715931、2019/12、築地書館、KP00026203）

日本同様、農村人口が減り続ける英国での壮大な実験の記録。米国でも大反響！フォーブス誌10ベスト環境ブック2018
- ⑫ **ふるさと呼んでもいいですか**（¥3,872、9784272330966、2019/06、大月書店、KP00020946）

移民社会化する日本で、異文化ルーツの子どもたちが直面するリアルを等身大で語った貴重な手記。
- ⑬ **食べるこの哲学**（¥5,610、9784790717119、2018/04、世界思想社、KP00019084）

宮澤賢治「よだかの星」など食をめぐる身近な素材を、フランス現代哲学と日本哲学のマリアージュで濃厚な味わいに仕上げたエッセイ。
- ⑭ **貧乏人の経済学**（¥9,900、9784622076513、2012/04、みすず書房、KP00000236）

貧困研究は、ここまで進んだ。単純な図式（市場 v/s 政府）を越えて、現場での精緻な実証実験が明かす解決策。
- ⑮ **日本アニメ誕生**（¥4,950、9784585270560、2020/08、勉誠出版、KP00031877）

限られた人材、乏しい経験のなか、試行錯誤の連続を経て、日本アニメの創成期は幕をかけた。
- ⑯ **世界と僕のあいだに**（¥7,480、9784766423914、2017/02、慶應義塾大学出版会、KP00016064）

アメリカにあって黒人であるということ、この肉体とこの運命を生き抜くことを説く、父から息子への手紙。全米図書賞受賞の大ベストセラー。
- ⑰ **パパは女子高生だった**（¥3,300、9784750348957、2019/10、明石書店、KP00025407）

性同一性障がいのため戸籍の性別を女性から男性に訂正し、結婚した著者。最高裁で逆転勝訴を勝ち取ったパパと家族の記録。
- ⑱ **フランス小説の扉**（¥2,860、9784560721193、2010/11、白水社、KP00015259）

19世紀の極めつきの名作から20世紀の逸品、そして現在まで、小説の読みどころ、味わい方を語る。
- ⑲ **地球が燃えている**（¥6,292、9784272330997、2020/11、大月書店、KP00034935）

略奪型資本主義から脱炭素社会への大転換を可能にする「グリーン・ニューディール」政策の具体的ビジョンを示した、全人類必読の書。
- ⑳ **大阪ミナミの子どもたち**（¥4,620、9784779126123、2019/09、彩流社、KP00032203）

子どもをめぐる悲しい事件が跡を絶たない中、孤独、家族離散、困窮、暴力被害などで当事者をひとりぼっちにしないために！